

LLT



概要

孔内水平載荷試験装置「LLT」(Lateral Load Tester)は、ボーリング孔内にゴムチューブを挿入して、高圧ガスを圧力源とする圧力水を流入することによってゴムチューブを加圧膨張させ、この時の圧力と孔内におけるチューブの膨張量の関係を求め、地盤の変形特性を求める装置です。

特長

- ◆ モノセル法の採用により孔内載荷接地面積が広く、測定値の信頼性、有用性に優れています。
- ◆ 数多い基礎実験、現場実験によって測定値の理論的実験的な検討がなされており、構造物設計への利用法が確立されています。
- ◆ 载荷には窒素ガスを利用しております。载荷圧力は最大 2.5MPa で、一般の軟弱地盤には十分な载荷能力を有しています。
- ◆ 測定装置全体がコンパクトにまとまっており、使い易く、運搬等にも便利です。

※届出について

LLT は「高圧ガス保安法」で規定する「高圧ガス製造設備」に該当します。設備するに当たっては、高圧ガス製造事業者として都道府県知事の許可または都道府県知事への届出が必要です。